

黒磯ロータリークラブ会報

国際ロータリー会長：ジョンF. ジャーム
 第 2550 地区ガバナー：栃木 秀磨
 事務所：〒325-0826 宇都宮市西原町 142
 宇都宮グランドホテル内
 TEL：028-651-2550
 FAX：028-651-2551
 E-mail：m2550@agate.plala.or.jp



会長：村山 茂 幹事：植竹 一裕
 事務局：(株)植竹虎太商店内 植竹 一裕
 〒325-0056 那須塩原市本町 6-34
 TEL:0287-62-1123・FAX:0287-63-9228
 E-mail：k.uetake@coral.plala.or.jp
 例会：毎週水曜日 12:30 - 13:30
 割烹石山 那須塩原市本町 5-5

第2779回 村山年度 第45回 会報 2017 6-14 司会 豊田哲司君

**お客様 白河西ロータリークラブ
 会長エレクト 山口 治様**



自転車競技会場にし、様々なアトラクションそして飲食店の出店、パフォーマンスを同時進行するなどというイベントは、その規模からいっても、かつてないものだったと思います。那須塩原駅前の振興と賑わいづくりに大きな一石が投げられました。黒磯クラブの戸野会員はじめ、スタッフの皆様大変お疲れさまでした。

今月は、この他にも戸田で関東学生トライアスロン大会が、西岩崎の那珂川ではカヌースラローム大会、7月には板室温泉誘客を目的にトレイルランの開催、那須町では恒例になりました、自転車によるロングライドなど様々なイベントが開催されます。お時間があれば、是非ご覧いただきたいと思います。

会長挨拶 村山茂会長



話は変わりますが、労働力不足について少し面白い記事がありましたのでご紹介させていただきます。皆様ご存知の堺屋太一氏が2017年3月27日付で日本経済新聞に投稿したものです。題して「次世代の日本人育てよ」です。

日本は古来、「土地不足、ヒト余り」の状況だった。鎌倉時代の昔から、農民や武士は土地を一生懸命に耕し、領地を命がけで守った。戦国の時代も猫の額のような小さな土地を巡って戦いが繰り返されたし、江戸時代にも領地や村境での争いが絶えなかった。中略・・

皆様、今日は。先週の土曜日は、例会で戸野会員からご案内いただいた、第1回那須塩原クリテリウムに行ってまいりました。日曜日の下野新聞にも掲載されておりましたが、目の前を通り過ぎていくときのスピード感、テレビでは感じる事の出来ない迫力がありました。それでも、他の大会と重複したため、出走者が相当数減ってしまったとのことでした。フル参加だったらどういことになるのでしょうか。少しコースの幅が狭くないのか。などなど、考えてしまいました。何れにしても、那須塩原駅前通りを東西南北通行止めにして、そのままプロの

ところがここに来て事態は急変している。団塊の世代は既に高齢になり若い世代は数少ない。中略・・このことは現実の社会にも現れている。今や全国で人の住まない住宅が820万戸、全住宅の13.5%が空き家だ。中略・・農地に至っては、全国で40万ヘクタールが耕作放棄地になっている。中略・・日本は今や「ヒト不足・土地余り」の「未曾有の時代」を迎えているのである。

土地余り・ヒト不足になった日本では、人口の増加が求められる。このための出生率の向上策が必要だが、その方法が難しい。出生増加に成功した

出席報告 出席委員会 安藤譲治君

(出席規定の免除会員数6名)

例会日	会員数	出席数	欠席数	出席率	MU数	修正出席率
本日 6月14日	38(5)	29(2)	9(4)	85.3%		
前回 6月7日	38(5)	31(4)	7(2)	86.1%	4人	94.4%

欠席の場合は当日9時30分までに次のいずれかにご連絡を。電話62-0128、FAX62-1076 (以上石山桂子)
 メール gqvn2bz9k@sound.ocn.ne.jp

としても、日本の経済社会を支えられるようになるのは20年以上も先である。それを考えると、やはり外国人材の活用は欠くことのできない要素である。中略・・

いわゆる「外国人材の活用」といえる外国人労働者の総数は、昨年ようやく100万人を超えた。しかし、欧米先進諸国に比べればきわめて僅かな数である。その内訳をみると、永住者・定住者以外では、技能実習生が21万人、留学生のアルバイト就業者が同じく21万人を占める。ITの技術者など「技術・人文知識・国際業務」の高度な技能を有する専門人材は15万人に留まる。要するに日本は、外国からの移民はもちろん、外国人材もあまり活用していないのだ。

これからは、日本のあり余った土地や家屋を活用できるように、外国の人材を大幅に取り入れるべきだろう。農業移民や製造業移民も大いに入れるべきである。外国人観光客の増加に伴って、外国語の話せる販売員やイベント警備員への需要も高まっている。

こういえば、すぐ「日本には外国人を移入した経験がない」という人が出てくるが、それは大間違いだ。古代の昔だけではなく、鎌倉時代と江戸時代以外には多くの外国人が入り出していた。特に16世紀から17世紀前半の鎖国令までと、19世紀末の日清戦争までには相当数の外国人が入って来た。

例えば17世紀はじめ、中国大陸が満州民族の支配下に置かれかけた時には、大勢の漢民族が日本に来て、陶芸・染色などの工芸に従事しながら農耕もした。名大名家の書記係・秘書役や、御典医になった者も少なくない。中略・・今日われわれが日本の伝統文化と考えているものにも、元をたどると外国人移民によってはじめられたものがたくさんある。この人たちの子孫は、見事に日本に同化した。それから2世代ほどあとには、何と赤穂浪士の吉良邸討ち入りに参加した中国人の孫(武林唯七)までいる。

19世紀の終わり、明治開国から日清戦争の間にも、大勢の中国人が流入した。お雇い欧米人のような腰掛ではなく、日本に定着して、きちんと「次世代日本人」を育てたのだ。東京・上野で最初の喫茶店を開いてコーヒー文化を広げたのも中国人だったし、神戸で貿易商や洋服の仕立屋をはじめたのも中国人だった。その人たちの子孫からは有名作家になった人も宝塚スターになった人もいる。いずれも立派な日本人として日本文化に貢献したのだ。

今、日本は一時の人手不足の解消だけでなく、本当に日本の将来に貢献してくれる「次世代日本人」となる外国人の「長期定住」を目指す政策こそ大切だろう。それがこの国の「当面の成長」のためにも、「長期安定」のためにも不可欠である。外国人材の活用の真の在り方を真剣に議論すべき時期である。

以上、堺屋太一氏の記事をご紹介いたしました。私もタクシー業界もそうですが、地方のあらゆる地場産業の担い手不足は、差し迫った問題だと思っております。また、ロータリアンの立場から考えてみると、外国人との交流が増えるということは、互いを理解することにもつながり、地域の平和安定と世界平和促進へのきっかけにもなり得ると思えます。一方で、犯罪が増え、治安が悪化するなどのネガティブなこともいわれますが、グローバルな現在において、もはやそのような事を理由に日本が人的鎖国状態を続けることを世界が許してくれるでしょうか。

ご清聴有難うございました。以上で本日のご挨拶といたします。

● 白河西ロータリークラブ 会長エレクト 山口 治様 挨拶

今日、私が白河西ロータリークラブ会長エレクトという立場でお邪魔させて頂いたのは、大体こういうパターンで突然にロータリアンが訪れると、実はお願ひがありましてという話が多いと思いますが、そういったことではございません。じゃ、なぜ来たのか、次年度会長として年度方針に積極的にメーキャップをしましょう、という会長方針を掲げました。山本五十六語録にある「やってみせ、言って聞かせて、させてみせ、ほめてやらねば、人は動かじ」やはり、自分が積極的にメーキャップして見本となって模範とならないと、会は動いてくれないであろうということで、年度前から、こういった形で各クラブにメーキャップさせて頂いております。

それがまず一つの目的で、それとは別に皆さんも大変だろうと感じている、パブリックスピーキング、メーキャップで話しをする機会がトレーニングと考え、前年度から各クラブに訪問し、今日、黒磯クラブにお邪魔させて頂きました。

● 幹事報告 植竹一裕幹事



第16回理事・役員会報告です

- 5月28日開催された高校生ライラ インターアクト大会参加費の件
生徒3名＋先生1名×¥5,000=¥20,000の支出事後報告として承認されました。
- 2017関東学生トライアスロン選手権那須塩原

大会への協賛の件
例年通り10,000円の協賛する事で承認されました。

- 黒磯クラブの貯金通帳の統合整理の件
財団奨学金用通帳の利息等の預金分と振込・引落用通帳を廃棄し、それぞれ残金を一般会計用通帳移動する事で承認されました。
- 遠藤清和会員退会の件
理由:経営する会社での労働力確保のため健康上
遠藤会員推薦人等が現在当クラブを退会しているため、過去からの退会希望を併せ、正式な退会届提出を以って退会届を受理する事で承認されました。

第45回幹事報告です。

- ガバナー事務所より9月23日に韓国ソウルで開催されます、第14回ロータリー韓日親善会議の開催通知が届きました。稲垣政一次年度幹事にお渡し致しました。
- ガバナー事務所より「ハイライトよねやま207」が届きました。檜山達郎米山記念奨学会委員にお渡しすると共に、現在回覧しております。
- 6月は年度末です。お手元にロータリーで使用された領収書をお持ちの方は、出来れば次回例会までに提出お願いいたします。
- 本日18:00より割烹石山において、新旧委員長引継ぎ会を開催致します。よろしくお願ひいたします。

委員会報告 高木茂副会長



本日は担当である荒井副会長が欠席ですので、私が委員会報告を申し受けます。報告のある委員会は挙手願ひます。

● 社会奉仕委員長 室井次男君



社会奉仕委員会からお知らせです。予定通り今月17日から18日にかけて、那珂川水質調査で源流まで行ってきます。その後、盛大に反省会を行いますので宜しくお願いします。17時から道頓堀を予定しております。



ニコニコボックス 室井次男君

白河西RC 今日ではメイキャップ快くお
山口治様 受け頂きありがとうございます。色々勉強していきたいと思ひます。

戸野俊介君 おかげ様で、先週末の那須塩原駅前自転車ロードレース。来場者1万人を達成し、良い大会となりました。来年も開催致しますので、宜しくお願いします。



クラブ協議会

○ 黒磯ロータリークラブ細則改正案について

村山 茂会長より、本日は黒磯ロータリークラブ細則改正案について提案することを述べ、その趣旨及び内容の検討については、適用時期(平成29年7月1日から)に鑑み、次年度理事役員会及び定款細則検討委員会をお願いしたことを述べ、ついで、その説明を高木 茂会長エレクトにお願いする。

高木 茂会長エレクト

次年度RI会長イアン・ライズリー氏はロータリーとは何か、何をするのかを世界に理解してもらうことがいかに重要であるかを認識しております。同時に各クラブがロータリー奉仕を独自に定義する事がかつてないほど重要だと自覚しております。ロータリアンである私たちはこれまでよりも柔軟にクラブの例会、各種活動、発展の方法を決定できます。

次年度の太城ガバナーの重点目標は会員増強であります。ロータリークラブが変革をもたらす未来の成長のためには会員増強が不可欠と訴えております。

当クラブも時代に合わせて魅力ある入会しやすいクラブを作ることが私の方針でもあります。

そこで今年度、次年度の理事会にて細則の改正案を承認され、5月17日の定款細則検討委員会にて審議され会員の皆様に細則第13条の規定に基づき通知した次第でございます。

(黒磯ロータリークラブ細則(改正案))

第5条会合

第2節 本クラブの例会は、次の通り開催する。

(削除 例会は毎週水曜日12時30分に開催する)

変更案 国民の祝日を含まない週の毎週水曜日、12時30分に開催する。

第6条入会金及び会費

第1節 入会金は(削除50,000円)20,000円とし、入会の際に納入する。

第2節 本クラブの年会費は(削除200,000円) 180,000円とする。

以上が改正を提案した理由と内容でございます。

村山 茂会長

それでは、只今の説明を踏まえご意見ご質問等を求めるにたく、原案の通り挙手をもって採決するに、満場一致で承認された。



卓話 次年度会長・幹事

● 次年度会長 高木茂君



次年度の抱負ですが、7月1日より施行される細則の一部変更をふまえた私のクラブ運営方針は、7月の第一例会に発表したいと思っております。

なお時間がございますので、わたくしの好きなお酒について少々話してみたいと思っております。最近、次年度がもう少しで始まると思うと緊張してお酒の量が増え気味であります。先日、新聞記事のタイトル「少量の飲酒、休肝日が肝要」のタイトルが気に入り読んでみました。それによると1日に日本酒3合以上(エタノールに換算して70グラム以上)を飲酒する人は、飲酒しない人と比べて、脳出血で約3倍、心臓病で約2倍、発症のリスクが増加するとのこと。逆に1日2合未満だと、脳梗塞の発症のリスクが約20~40%減る傾向がみられるとのこと。週3日以上お酒を飲まない「休肝日」を設け、飲酒は1日1~2合にすると健康維持には望ましいとの結果です。

お酒は1日1合までなんて飲まないほうがましです。日本酒1合、ワイン1杯、焼酎1杯なら1日で飲んでもいいのではと解釈してもエタノールの含有量で換算して、いずれかの1種類のアルコールを飲む目安とのこと。お酒はほどほどが間違いないようです

がなかなか私には難しいのが現実です。以上で次年度会長の抱負といたします。

● 次年度幹事 稲垣政一君



高木茂年度、幹事職を仰せつかりました、稲垣です。

私が入会したのは、平山年度後期でロータリー歴は3年半です。幹事職を指名いただいた際、信頼頂き、声をかけてくださったのは光栄でしたが、正直申し上げまして、ロータリーが十分に理解できていない私が、幹事という大役を受けて良いものなのか、また安請け合いをして、会員の皆様にご迷惑をかけてしまうのではないかと、考え込んでしまいました。

以前、村山会長がロータリーは、指名されたら原則拒否できないと、お話をされておりました。大変悩みましたが、黒磯ロータリークラブの伝統であるなら、自己研鑽も含め前向きに考え幹事職を受けました。

つきましては、経験不足の皆様にご迷惑をかけると思っておりますが、高木茂会長の方針に沿い、スムーズな運営に尽力する所存ですので、ご協力よろしくお願ひします。

以上簡単ではございますが、次年度幹事挨拶とさせていただきます。

6月14日欠席(敬称略)

荒井昌一・遠藤清和・大森貞男・佐藤博
平山博・深町彰・藤崎善隆・和気勝利
瀬尾紀夫

前回 6月 7日分メイクアップ(敬称略)

秋葉秀樹・豊田哲司・澤田吉夫

次回例会

平成 29 年 6月21日

担当 会長・幹事

近隣クラブ例会日

- 火曜日 西那須野/いとう屋 0287-36-0028
- 木曜日 塩原/塩原カントリークラブ 0287-35-2211
- 木曜日 大田原中央/勝田屋記念会館 0287-23-4165

近隣クラブ例会日

- 木曜日 大田原/ホテル龍城苑 0287-24-2525
- 木曜日 那須/ホテルエビナール那須 0287-78-6000
- 金曜日 黒羽/ホテル花月 0287-54-1105